

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【公表番号】特表2009-535258(P2009-535258A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-508269(P2009-508269)

【国際特許分類】

B 6 3 H 21/20 (2006.01)

H 0 2 P 9/04 (2006.01)

B 6 3 J 3/02 (2006.01)

B 6 3 J 99/00 (2009.01)

【F I】

B 6 3 H 21/20

H 0 2 P 9/04 N

B 6 3 J 3/02 A

B 6 3 J 5/00 A

B 6 3 J 3/02 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

本発明による方法によれば、軸発電機／電動機の電動機動作中における廃熱回収システムのエネルギー発生停止の際に、軸発電機／電動機が電動機動作から発電機動作に切り換えられ、切換時間中に、船内電気系統の電圧および周波数がそれぞれ予め与えられる限界値を下回らないように、エネルギー源が電気エネルギーを船内電気系統に供給する。る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

本発明による廃熱回収式船舶推進システムは、特に本発明による方法の実施のために、次のように構成されている。

廃熱回収システムによるエネルギー発生の停止の際に軸発電機／電動機を電動機動作から発電機動作に切り換えるための制御・調節システムと、

電動機動作から発電機動作への切換中に電気エネルギーを船内電気系統に供給することを可能にするエネルギー源とを備え、

電動機動作から発電機動作への切換時間と切換時間中に船内電気系統に供給可能なエネルギーに関するエネルギー源の大きさとが、切換中に船内電気系統に供給されるエネルギーのおかげで船内電気系統の電圧および周波数がそれぞれ予め与えられている限界値を下回らないように、互いに調整されている。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

これを回避すべく、軸発電機／電動機が故障信号発生後1秒よりも短い時間内に電動機動作から発電機動作に切り換えられる。切換時間中は、系統5のエネルギー需要が調相機18の回転運動エネルギーで満たされる。これは一時的に重要負荷のためのエネルギー供給を引き受け、このためのエネルギーを船内電気系統5に供給し、特に船内電気系統5の電圧と周波数がそれぞれ予め与えられた限界値を下回らないように供給する。限界値は船内停電を招き得る重要な船内負荷6の安全遮断を回避できるように選定される。切換時間と切換時間中の調相機のエネルギー発生能力とは、このために相互に調整されている。更に、1秒よりも短い切換時間においては、一般に使用される4～7MVAの出力を有する調相機のエネルギー蓄積・エネルギー発生能力は十分であるので、切換時間中におけるエネルギー供給目的に狙いを定めた過大な設計は必ずしも必要としない。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

発電機動作への切換の時間中に船内電気系統5が必要とするエネルギーEは調相機17によって供給されるので、船内電気系統5の周波数と電圧がそれぞれ予め与えられている限界値を下回ることはなく、限界値は重要負荷7の安全遮断が確実に回避されるように選定されている。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0057

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0057】

電動機動作から発電機動作への切換中には、船内電気系統5の電圧および周波数がそれぞれ予め与えられている限界値を下回らないように、中間回路コンデンサ52が電気エネルギーを船内電気系統に供給する。切換時間中に船内電気系統5に供給可能なエネルギーに關係する電動機動作から発電機動作への切換のための時間および中間回路コンデンサ52の容量がこのために相互に調整される。